

1. 待合室には健康診断など情報を提供するポスターのほか、子ども用ぬいぐるみも 2. 広々とした診察室



## 医師会の理事として支える地域医療連携 板橋区民の健康維持のために情報を発信

東武東上線成増駅から7分ほど歩いた住宅街の一角にある『多比良医院』。循環器科を専門とする多比良清院長は、生活習慣病に悩む患者の指導に当たるほか、ちょっとした風邪の治療など、さまざまな症状を幅広く診療。地元の人たちの健康維持に貢献している。

板橋区医師会の理事を務める多比良院長。そこで感じたのは、医師会の仕事のスケールの大きさだ。「医師は個々に勉強して最良の医療をすればいいと思っていましたが、医療を成り立たせるためには、整ったシステムが必要なんです」最近では、MERSの問題など

### 多比良医院

## 多比良 清 院長

Kiyoshi Taira

内科／循環器内科／小児科

**Profile** 1979年東邦大学医学部卒業後、同大学第三内科にて研修。1987年東京専売病院（現・国際医療福祉大学付属三田病院）勤務。1996年多比良医院にて副院長に就任後、2007年多比良医院理事長兼院長に。板橋区医師会理事、日本禁煙学会認定指導医。日本循環器学会、日本内科学会などに所属。診察室にあるパソコンはすべて自作。「凝り出すと上りつめてしまうんです」というこだわりの一面も。

に取り組み、医師会の理事として、感染症の対策をはじめとする公衆衛生に尽力。区民を守るための注意喚起も精力的に行っている。板橋区は多比良院長が医師会に関わる以前から地域医療連携が整っていたという。区民自らが医療に関する情報を収集するためのシステムは万全。さらに、在宅診療の患者を診る場合も、介護士、歯科医師、薬剤師など、専門領域のスタッフや、入院していた病院の

医師とも連携が取れるよう体制を整えている。「板橋区の医師会では、それらすべての連携がネットワーク上でつながる努力をしています。自ら往診に来てくれる医師を探す時は、板橋区医師会在宅医療センターの療養相談室などが便利です。一人で背負い込まず、こうしたシステムを利用してほしい。板橋区は医療に関して、とても恵まれているので、ぜひ知っておいてください」

### Pick up!!

一人で抱え込むことはとても危険  
循環器の悩みは専門家に早めに相談を

循環器科を専門とする多比良院長。現在、ペースメーカーの埋め込み手術はできないが、既にペースメーカーを埋め込んでいる患者へのアドバイスは行っている。ペースメーカーが必要な患者の心臓は動きをさぼったり、早く動き過ぎて空回りをしており、結果的に、心臓の収縮がうまくいかず、失神やめまいを起こすのだという。「思い当たる症状のある方、不整脈、高血圧、狭心症など循環器で悩んでいる方もぜひ相談に来てほしいですね」



3. 循環器の検査などで用いるエコー

### Data



- Tel 03-3975-8139
- Add 板橋区成増4-13-2
- Parking 有
- Close 日／祝

Map P000 X-0 Link P000

	月	火	水	木	金	土	日	祝
9:00～12:00	●	●	●	●	●	●	—	—
15:00～17:30	●	●	●	—	●	—	—	—

※木曜、土曜の休診日は変動しますので、ホームページをご確認ください



このQRコード  
へて詳細を

